

レジ袋削減キャンペーン

1 内容

「レジ袋削減に関する共同アピール」に基づき、レジ袋削減に関する社会的気運の醸成（無駄に使用されているレジ袋についての気づきを共有する運動の実施）をメインテーマとし、レジ袋削減に関する普及・啓発を図るべく、市民記者の起用、ラジオ、ポスター、ホームページ、啓発イベント、フリーペーパーの作成等の取り組みを行った。

2 効果

様々な啓発方法により、多くの方に、レジ袋削減について意識啓発のきっかけを提供することができた。

3 実施結果

(1) キャンペーン期間

平成 22 年 7 月～平成 23 年 3 月

(2) 市民記者の起用

大学生や専門学校生 42 名、アイドリング 20 名からなる市民記者を組織し、東京 62 市区町村へレジ袋を始めとする環境に関する取り組みについて取材した。また、市民記者で構成された市民会議を開催し、取材の報告、フリーペーパー制作の検討を行なった。

(3) ラジオによる啓発

7 月 10 日から 3 月 26 日まで、ラジオ「インター FM」(76.1 MHz)の番組「GREEN STATION」(毎週土曜日午前 10 時～正午 OA)内で、本キャンペーンを紹介するコーナー(10 分程度)を設け、本キャンペーンの PR の他、市民記者による取材報告を行った。

(4) ポスターによる啓発

ポスターを B4 版と B5 版の 2 種類作成し、10 月の 3R 推進月間に各市区町村へ配付した。また、本キャンペーンホームページからダウンロードできるようにしたほか、市民記者それぞれが身近な学校や企業に配付した。

(5) ホームページによる啓発

みどり東京・温暖化防止プロジェクトホームページ(<http://all62.jp/>)内に本キャンペーンページを開設し、事業内容の紹介等を行なった。

(6) 啓発イベントの実施

3 月 9 日、お台場フジテレビ本社屋前池広場にて、「レジ袋ノーサンキューの日」としたイベントを実施し、アイドリング!!! 3 名と学生市民記者 5 名により、「ノーサンキュー、レジ袋」を呼びかけ、キャンペーン缶バッジを配付した。

(7) フリーペーパーによる啓発

平成 22 年度の活動を集約したフリーペーパーを作成し、市区町村へ配付したほか、本キャンペーンホームページからもダウンロード可能とした。